

福島県

ナース センター だより

No.
106

Contents

- 会長あいさつ
- 「看護職の働き方フォーラム」を開催しました
- 「看護職員リフレッシュ研修」を開催しました
- 看護職の巡回就職相談会のお知らせ
- ナースセンターを利用して
- 看護職の再就業支援研修が終了しました
- 高校生の一日看護体験を実施しました
- お問い合わせ

発行所／公益社団法人福島県看護協会 福島県ナースセンター
発行／令和2年2月20日



ふくしまの祭 「夜の森桜まつり」

双葉郡富岡町の桜の名所・夜の森の桜並木で行われている「夜の森桜まつり」。東日本大震災後から中止となっていましたでしたが2018年に再開しました。有志によるよさこい踊りやステージショーが行われ、待望の開催に多くの方が歡喜しました。

ナースセンターは 看護職と求人施設を無料でサポートします。

看護職の相談員が対応していますので、お気軽にご相談ください。看護協会の会員・非会員を問わずにご利用いただけます。

ナースセンターとは…

平成4年に「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき設置され、厚生労働大臣許可を受けた無料職業紹介所です。福島県ナースセンターは福島県看護協会が福島県知事の指定を受けて運営しています。各都道府県ナースセンターと、その中央機関である中央ナースセンターからなります。

新年あけましておめでとうございます。

2020年は十二支の始まりの「子」年です。様々なことが新しく始まる局面であり、個人は、自分の軸となる価値観をもって進むと良い年といわれています。また、ナイチンゲール生誕200年の記念すべき年であり、日本看護協会と日本看護連盟、都道府県看護協会・看護連盟が連携し、「看護の力で健康な社会を！」をメインテーマに掲げ「Nursing now」キャンペーンを展開しております。看護職がもつ可能性を最大限に発揮し、健康課題に積極的に取り組み、人々の健康の向上に貢献するために行動することを趣旨としています。

このように、今年は看護の資格を再度活かし、健康な社会づくりのための新たな一歩を踏み出し、スタートするには良い年なのではないでしょうか。

ナースセンターは皆さまお一人おひとりにあった働く場を紹介させて頂く、看護職専門の無料職業紹介所です。皆さまの専門職としての「力」をあらゆる場で活かして頂けるよう、職業紹介責任者が相談に応じております。お気軽に相談ください。



公益社団法人福島県看護協会
会長 今野 静

令和元年9月28日 「看護職の働き方フォーラム」を開催しました

令和元年9月28日、県内の看護職・看護学生・高校生および一般の方を対象とした「看護職の働き方フォーラム」を開催し32名が参加しました。

今年度の講演は、福島県看護協会吉田専務理事より「働き続けるために」という演題で、福島県の看護職需給見通しや日本看護協会で開催した「看護職員実態調査」の結果から、看護職の就業に対する現状や課題を踏まえたお話がありました。



発表者および参加者の皆さん

体験発表では「再就職した看護師として」「看護教員として」「特定行為研修を修了した看護師として」「地域包括支援センターで働く保健師として」というそれぞれのテーマで、それぞれキャリアを積み重ね楽しみながら現在も働き続けている現状の発表でした。

アンケート結果でも「様々な経験からの内容でこれからの視野が広がった」「研修としてよい時間で楽しかった」「自分を振り返る機会となった」など、働き続けることを考える機会となる研修となったようです。

令和元年11月29日 「看護職員リフレッシュ研修」を開催しました

今年3年目となる「看護職員のリフレッシュ研修」を開催しました。目的は、看護職員として働き続けるためのキャリアデザインの創造と、リフレッシュによるモチベーション向上につながる事で、実務経験2年から5年未満の看護職67名が参加しました。

午前中は榊原記念病院教育師長の中本美佳子先生で、スマートフォンを使った性格診断、適職診断、自身のキャリアアンカー診断などを行い自己概念を考える手法で講義が進められ、『看護職のキャリアデザインを考える』というテーマに結び付けられていました。

また午後からは、筋ジストロフィーと闘いながら歌手活動をしている小澤綾子さんの心に響くコンサートと楽しいトークが行われました。参加した方からも高評価でした。

講義と個人ワークから目標を見いだしたり、難病と闘いながら様々なことに全力で取り組む姿にキャリアデザインの創造につながる面を見つけた研修生もいたようで、充実した研修となりました。



個人ワークで指導する中本美佳子先生



心に響く歌声を披露する小澤綾子さん

看護職の巡回就職相談会のお知らせ

～福島県ナースセンターが就職へのサポートをします～

県内6ヶ所のハローワークで就職相談会を実施します。日程をご確認いただき、ぜひご参加ください。

〈3月〉

会場	開催時間	日付
ハローワーク福島	10:30～12:30	3日(火) 24日(火)
ハローワーク郡山	13:30～15:30	17日(火)
ハローワーク会津若松	10:30～12:30	12日(木)
ハローワーク相双	11:00～13:00	6日(金)
ハローワークいわき	10:30～12:30	26日(木)
ハローワーク小名浜	14:00～15:30	26日(木)



巡回就職相談会の様子

ハローワーク福島・ハローワークいわきは、事前に予約が必要ですので、ご予約をお願いします。

ハローワーク福島 TEL 024-534-4121 46#
ハローワークいわき TEL 0246-23-1421

※相談会場で、採血演習も実施できます。採血演習希望の方は、福島県ナースセンターにお申込みください。
(TEL 024-934-0500)

ナースセンターを利用して

就職した方の声

ナースセンターを利用して就職が決まった求職者の皆さんに、就職までの経緯や感想などをお聞きしました。

私は出産・子育てのため、10年以上看護職から離れていました。子育てが落ち着いて復職したいと思ってたたくさん不安がありました。

初めて巡回就職相談会に参加し、相談の際に勧められ受講した「看護職の再就業支援研修」では、現場に必要な知識、技術（採血・注射）など、現在働いている職場ですぐに役立つことを学ぶことができました。また、研修受講者の方と話す、私と同じ気持ちであることが分かり、自分だけではないのだと分かりとても心強かったです。

ナースセンターの方は、不安でいっぱいなのに私に笑顔で話しかけてくれ、頑張ってみようという気持ちにさせてくれました。今、看護師として復職できたのはナースセンターの皆様の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

K.I様

私は子育てのためしばらく看護職を離れていたことに不安を感じ、ナースセンターを利用しました。

まずナースセンターに電話をし、復職の希望を伝えました。具体的にどのような働き方をしたいのか、場所の希望など細やかに確認していただいたことで、自分の中でイメージがはっきりしてきました。ナースセンターに足を運ぶなくても電話や郵送で求人情報を伝えてもらえ、サイト内で情報収集ができたこともありがたかったです。

気になる施設見学の仲介もして下さいました。お陰で複数の気になる病院の中を実際に見ることができました。ナースセンターでの採血の演習も復職する際の自信につながりました。

復職にご協力いただいたことに感謝し、質の高い看護の提供に尽力していきたいと思えます。

Y.S様

求人施設からの声

看護職員の働きやすい環境づくりに日々努めている求人施設のみなさんから、施設の概要や
行っている取り組み、ナースセンターの利用状況などをお聞きしました。

きらり健康生活協同組合

訪問看護ステーションすかわ

管理者 保 美菜

訪問看護ステーションすかわは、きらり健康生活協同組合を本部とする医療生協の訪問看護ステーションです。当医療生協には他に訪問看護ステーションしみず、サテライトせのうえと3つの訪問看護ステーションがあります。当ステーションの訪問領域は福島市内、庭坂、南沢又、渡利、南向台、蓬萊、と広い範囲を訪問しています。『我が家で自分らしく暮らす』ことを支えます』を目標に掲げ日々訪問しています。

スタッフは保健師1名、看護師6名、作業療法士4名です。現在のご利用者様は160名で、月の延べ訪問件数は790件を超えています。24時間、365日切れ目ない訪問体制で在宅療養者を支えます。年間の看取り数は平均23名程度です。末期の方も多く紹介されますが、在宅で長くかかわっている方も多く、在宅で身体の管理をしながらリハビリを続けられている方もおられます。「その日まで自分らしく暮らす」それを支えるステーションとしてスタッフみんなが日々訪問しています。



社会福祉法人郡山福祉会

特別養護老人ホームうねめの里

総務部長 豊田 英人

「地域の中で、共に笑い、共に悲しみ、そして共に生きていく。共に暮らしていく」これをケアの基本方針として、入居者様一人ひとりが出会いからお別れのときまで、明るく楽しい気持ちで今までの暮らしが継続できるように生活習慣や好みを尊重し、地域の方々と交流しながら、共に暮らしを楽しむことを目標に運営しています。そして、いただいた命を大切に、看取りケアに12年間取り組んでいます。看護職員はバイタルチェック・服薬管理・経管栄養・容態急変時の対応など看護師としての専門性を発揮しながら、チームケアの一員として入居様の暮らし、人生に寄り添いながら同じ目標を目指しています。

「職員が財産」の基本的な考え方から、多様な働き方に対応しており、みんなが笑顔で輝ける職場を目指しております。お気軽にご相談ください。

《ユースエール企業認定》

《ふくしま健康優良事業所 2019年福島民友新聞社賞受賞》



看護職の再就業支援研修が終了しました

福島県から委託を受け「看護職の再就業支援研修」全3日間3コース（6月、9月、11月）が終了しました。最新の医療・福祉・看護の動向・技術を学び自分に合った職場復帰に繋げることを目的に、郡山市（2回）と福島市（1回）で開催しました。

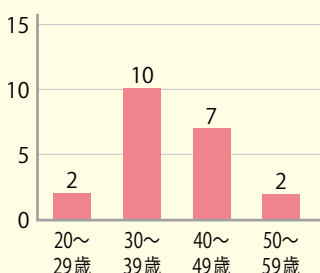
講義演習の内容は「最新の医療・看護の動向」「フィジカルアセスメント」「医療事故防止」「院内感染対策」「注射・採血の実際」「訪問看護に要する知識」です。受講者数は21名で、とても真剣に取り組まれていました。



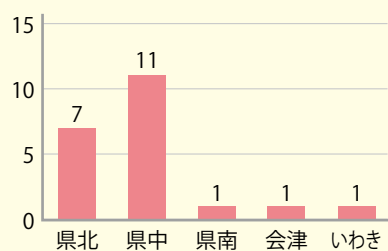
「医療事故防止」講義の様子

受講者の背景

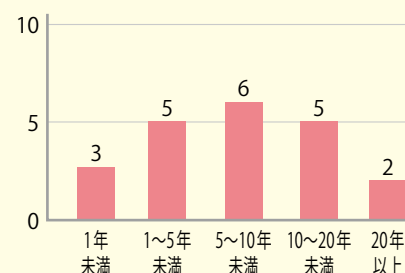
年齢(人)



地域別(人)



離職年数(人)



受講動機について

- 離職期間が長く技術、知識の面で自信がなかった。
- 再就職に不安があった。
- 最新の医療、看護の知識を学びたいと思った。
- 施設での勤務が長かったが、再就職は病院またはクリニックを考えているため。



「採血・注射」の演習をする受講者

受講後のアンケート結果より

- 研修内容については全員が「理解できた」「よく理解できた」と回答した。
- 研修目的については全員が「ほぼ達成できた」「十分達成できた」と回答した。
- 研修後の再就業への意欲の変化についてはほぼ全員が「意欲が高まった」と回答した。

受講後の感想

- 働き方が柔軟になっていることがわかり仕事が出来そうな気持ちになった。
- 同じような経験の方がたくさんいて心強さを感じ頑張ろうと思った。
- 再就職に対し前向きになれた。再就職のイメージをつかむことが出来た。



「フィジカルアセスメント」の演習風景

受講者21名のうち就職した方は1月9日現在10名であり、就職先は病院、訪問看護ステーションなどとなっています。



再就業支援研修を受講して

私は臨床経験10年で県外からUターンしました。最後に勤務していた部署が地域包括支援センターでしたが、就職は訪問看護を志望していました。そのため、臨床の現場から2年ほど離れておりこのまま就職しても大丈夫だろうか？との不安を覚えていました。

そんな時に再就業支援研修を知り、できることから始めてみ

ようと思い参加しました。研修では、参加者同士がすぐに打ち解け、みなでどんな就職を考えているのか等、話をする事ができました。また、研修を通して知識を新たにすることができ就職に対して前向きな気持ちになれました。

そして、就職相談では自分のタイミングで就職できるようサポートしていただき、大変有難く思っています。(MT様)

高校生の一日看護体験を実施しました

去る7月22日から8月2日の10日間、県内57病院において、一日看護体験を実施し看護師に興味のある高校生687名が参加しました。

医療現場での体験を通して「看護師になりたい」という気持ちが強くなったという感想が多くありました。

今後の社会を担う高校生にとってこの体験が看護職への進路選択の一助となることを願っています。



「高校生の一日看護体験」の感想 (一部抜粋)

- どんな患者さんでも笑顔で明るく接しているところがすごいなぁと思った。初対面の人に話かけるときは勇気があるし緊張をしますが、看護師さんは「〇〇さんお体大丈夫ですか？」など気軽に話が出来ているのをみて看護師になりたい、少しでも患者さんの役に立てるような人になりたいと思った。体験で学んだことがたくさんあるので今後の進路実現に役立てたい。
- 足浴を実際に行き、「気持ちいいなぁ」「ありがとう」と言ってもらえてとてもやりがいを感じられた。シーツ交換は中腰の体勢が思ったよりつらく疲れた。看護師の仕事は大変なことが多いと思うが、体験を通してそれ以上にやりがいを感じられ、看護師になりたいという気持ちが強くなった。
- 看護師という仕事は様々な業務がありとても責任のある仕事だということを感じた。看護師の中でも多くの専門の資格があることを知った。普段あまり見ることが出来ない病院の設備や器具、機械、手術室の様子や手洗いの方法など詳しく聞くことができとても興味深かった。



**福島県看護会館
(福島県
ナースセンター)**
郡山駅西口より徒歩7分

福島県ナースセンター 「PRグッズ」を作成!

ぜひ
ご活用
ください

ウェット
ティッシュ

ナースセンターは、厚生労働大臣の許可に基づき
看護師等無料職業紹介所です。
「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき
設置され、福島県ナースセンターでは福祉事務所から
認定を受けて運営しています。
看護師等の確保・求職の支援、福祉事務所との連携、再就
業支援事業、看護の広報と啓蒙に努めています。

申請個体ナースセンター
福島県ナースセンターは、福島県(内閣)に認定された福祉
事務所、看護協会等が共同で運営している福祉施設です。
① 求職者の確保と求職支援 ② ナースセンター
センターとして運営する福祉施設です。求職者の確保と
求職支援に努めます。

申請個体ナースセンター ことばのろ
求職者の確保と求職支援 求職者の確保と求職支援に努めます。求職
者の確保と求職支援に努めます。求職者の確保と求職支援に努
めます。求職者の確保と求職支援に努めます。求職者の確保と
求職支援に努めます。

PRカード

発行所 福島県ナースセンター 看護師等無料職業紹介所

〒963-8871
郡山市本町一丁目20番24号
(公益社団法人 福島県看護協会内)
TEL: 024-934-0500
FAX: 024-991-6002
発行責任者: 今野 静